

色材セミナー2016

『光機能性材料としての蛍光体、発光体の最新動向』

主催 (社) 色材協会中部支部

協賛 名古屋テキスタイル研究会, 日本色彩学会東海支部, 日本デザイン協会, 名古屋産業振興公社, 愛知工研協会, 高分子学会東海支部, 中部塗装技術研究会, 東海化学工業会, 日本塗料工業会, 日本化学会東海支部, 日本接着学会中部支部, 有機合成化学協会東海支部, 表面技術協会中部支部, 日本油化学会東海支部, 化学工学会東海支部, 日本分析化学会中部支部, 電気化学会東海支部, 自動車技術会中部支部

日時 平成28年3月10日(木) 13:00~17:00

場所 [名古屋市工業研究所](#) 第1会議室(管理棟3F) 名古屋市熱田区六番3丁目4-41
(地下鉄, 市バス, 「六番町」下車, 南西へ徒歩約2分)

ノーベル物理学賞を機にLED蛍光体が脚光を浴び、蛍光体、発光材料は8Kスーパーハイビジョン向けディスプレイや光エネルギー変換などの応用を目指して活発に研究されています。今回、蛍光、蓄光、発光材料の最前線で研究、事業展開を進められておられる先生方をお招きして、最新の動向と展望についてご講演頂きます。新分野への展開を期待して、皆様のご参加をお待ちしております。

演題・講師 (13:00~17:00)

1. コロイダル量子ドット蛍光体の合成技術と応用展開

大阪大学大学院 工学研究科 マテリアル生産科学専攻 准教授 小俣 孝久 氏

コロイダル量子ドットは、液晶ディスプレイのバックライトLEDの波長変換素子として既に搭載が始まっている次世代蛍光体であり、その特性、合成法、応用展開技術の現状と今後について紹介する。

2. 銅・銀錯体の発光と配位子による発光制御

富山大学大学院 理工学研究部 (理学) 化学専攻 教授 柘植 清志 氏

近年、様々な配位子を持つ銅(I)錯体・銀(I)錯体が室温・固体状態で強い発光を示すことがわかってきた。今回は主にハロゲン配位子を持つ錯体を中心に、発光色の制御や金属-金属相互作用について紹介する。

3. 無機発光材料の合成と利用

堺化学工業(株) 研究開発本部 中央研究所 小澤 晃代 氏

無機発光材料特性は粒子径や結晶性に大きく依存し、適用分野ごとに使用できる元素や求められる特性も異なる。本講演では無機発光材料の特性、合成法、適用事例などについて紹介する。

4. 蓄光性蛍光体の特性と応用事例について

(株) ネモト・ルミマテリアル 常務取締役 青木 康充 氏

蓄光性蛍光体は、現在硫化物系と酸化物系の2種類が“蓄光顔料”として市販されている。硫化物系は100年以上の歴史があり、玩具などに使用されている。近年開発された酸化物系は硫化物系の10倍以上の輝度と優れた耐久性を有し、今後用途が広がろうとしている。今回は、酸化物系を中心に解説する。

参加費 会員・協賛団体 8,000円, 一般 11,000円, 学生 2,000円 (テキスト代含む)

技術交流会費 (講師を囲んで) 会員 無料, 会員外 500円 (管理棟2F, 交流フロア 17:00~18:00)

定員 100名 (先着順)

申込方法 3月3日(木)までに下記申込書を郵送またはFAX, E-mailでお送り下さい。

[申込みフォーム](#) (←ここをクリック) からもお申込みいただけます。

下記ホームページからもお申込みいただけます。

色材協会中部支部 <http://www.shikizai-chubu.org/>

中部科学技術センター 学協会事務局 <http://www.c-goudou.org/>

会費は、みずほ銀行 名古屋支店 普通預金口座 No.1106150 色材協会 中部支部宛 振込み、または、下記申込先に現金書留でお送りください。

申込先 〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35-18 中部科学技術センター内 色材協会 中部支部

TEL 052-231-3070 FAX 052-204-1469 E-mail: t.inukai@c-goudou.org

色材セミナー2016『光機能性材料としての蛍光体、発光体の最新動向』参加申込書

平成 年 月 日

社団法人 色材協会中部支部 御中 FAX 052-204-1469

会社名

加入団体名

〒所在地 および 電話番号

参加者	所属	E-メールアドレス	交流会出欠 ○×

参加者 名, 参加費 円を 月 日に送金いたします。